



2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年7月26日

上場会社名 株式会社篠崎屋
 コード番号 2926 URL <https://www.shinozakiya.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長 兼IR室長 (氏名) 矢立 実

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 2021年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,346	6.9	73	66.9	73	59.4	49	83.3
2020年9月期第3四半期	2,194	10.5	44	28.8	46	27.3	27	46.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	3.52	
2020年9月期第3四半期	1.92	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第3四半期	1,575	1,193	75.7	84.27
2020年9月期	1,502	1,143	76.1	80.75

(参考)自己資本 2021年9月期第3四半期 1,193百万円 2020年9月期 1,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

業績予想の策定に伴い、その内容等を勘案し配当予想を決定いたしました。

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,026	5.0	40	14.0	40	5.9	17	7.0	1.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、予想値を策定いたしましたので、公表することといたしました。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	14,436,600 株	2020年9月期	14,436,600 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	278,800 株	2020年9月期	278,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	14,157,800 株	2020年9月期3Q	14,157,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第3四半期累計期間において、商品につきましては、引き続き「三代目茂蔵」でしか購入することのできない「茂蔵オリジナル商品」を中心に、利益率の良い高付加価値・高価格帯商品の開発及び既存商品の高付加価値・高価格帯への見直しに注力し、顧客単価の上昇と利益の改善に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響等による景気の先行きは不透明な状況となっていることから、お買い得感のある「生活応援企画商品」を強化することで顧客数の確保と売上高の拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の売上高は2,346,423千円（前年同四半期比6.9%増）、営業利益は73,789千円（前年同四半期比66.9%増）、経常利益は73,896千円（前年同四半期比59.4%増）、四半期純利益は49,871千円（前年同四半期比83.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおきましては、「三代目茂蔵」ブランドを「工場直売所」から「豆腐専門店」へと、転換を押し進めております。

当第3四半期累計期間におきましては、「三代目茂蔵」の認知度向上と顧客数の増加を目的に、開店時間から12時までの時間帯に「朝市」を開催し、新商品や「懐石弁当」などの高付加価値・高価格帯商品を時間限定でお買い得な価格にて提供することで、購買意欲の高い顧客層の来店頻度向上を図りました。一方、出店につきましては条件や店舗形態等の見直しを行い、出店準備を継続して進めております。

これらより1店舗平均の顧客単価は、前年同四半期比101.0%となりました。1店舗平均の顧客数につきましては、「朝市」の開催などにより開店から14時まででは同115.6%となり、結果、同104.8%となりました。

以上の結果、小売事業の売上高は2,109,826千円（前年同四半期比6.5%増）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、売上高の増加により153,744千円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は236,596千円（前年同四半期比10.6%増）、セグメント利益（営業利益）は30,327千円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

なお、当第3四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第3四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	44	1	—	45
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	59	37	3	93
合計		103	38	3	138

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して73,015千円増加し1,575,429千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加79,643千円、商品の増加10,426千円及び有形固定資産の減少11,926千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して23,144千円増加し382,365千円となりました。主な要因は、買掛金の増加36,139千円、未払金の増加11,591千円及び長期借入金の減少15,003千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して49,871千円増加し1,193,064千円となりました。これは四半期純利益49,871千円の計上により利益剰余金が49,871千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による影響が大きく、予測が困難なため通期業績予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしました。

当第3四半期累計期間の小売事業における売上高は前年同四半期比で106.5%となりました。第4四半期会計期間につきましては、引き続き「豆腐専門店」として専門性の高い高付加価値商品の開発・販売に注力していくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響等による景気の先行き不透明な状況への対応として、お買い得感のある「生活応援企画商品」の強化も行ってまいります。以上のことから、第4四半期会計期間の売上高につきましては、直近の実績をベースに過去の季節指数を使用し策定いたしました。

利益面につきましては、低価格帯の「生活応援企画商品」の強化や開店から12時までお買い得な価格で販売を行う「朝市」を継続して行うことを踏まえ、直近の実績を前提に第4四半期会計期間分の費用を見積もり、利益予想を策定いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、小売事業の店舗において営業時間短縮等を行いましたが、現時点において当社の業績への影響は軽微であることから、上記の業績予想には新型コロナウイルス感染症の影響は反映しておりません。今後、当社の業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	533,817	613,460
売掛金	66,304	72,485
商品	38,025	48,452
貯蔵品	608	565
その他	49,692	44,492
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	688,417	779,426
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	75,121	65,091
構築物(純額)	5,212	4,647
工具、器具及び備品(純額)	10,936	10,328
土地	562,970	562,970
その他(純額)	3,290	2,566
有形固定資産合計	657,531	645,605
無形固定資産	3,412	2,708
投資その他の資産		
敷金及び保証金	138,712	139,559
その他	14,536	8,326
貸倒引当金	△197	△197
投資その他の資産合計	153,052	147,689
固定資産合計	813,996	796,002
資産合計	1,502,413	1,575,429
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,309	207,448
1年内返済予定の長期借入金	20,004	20,004
未払金	39,845	51,437
未払費用	37,639	39,961
未払法人税等	28,764	16,773
その他	2,400	2,185
流動負債合計	299,963	337,810
固定負債		
長期借入金	56,658	41,655
その他	2,600	2,900
固定負債合計	59,258	44,555
負債合計	359,221	382,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	63,641	113,513
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,143,192	1,193,064
純資産合計	1,143,192	1,193,064
負債純資産合計	1,502,413	1,575,429

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,194,043	2,346,423
売上原価	1,433,838	1,549,159
売上総利益	760,204	797,264
販売費及び一般管理費	716,000	723,474
営業利益	44,204	73,789
営業外収益		
受取利息	108	12
未払配当金除斥益	221	415
受取補償金	1,235	—
助成金収入	819	—
その他	248	41
営業外収益合計	2,632	470
営業外費用		
支払利息	470	363
その他	16	—
営業外費用合計	486	363
経常利益	46,350	73,896
特別利益		
固定資産売却益	49	—
特別利益合計	49	—
特別損失		
減損損失	—	1,432
固定資産除却損	0	13
店舗閉鎖損失	1,692	—
特別損失合計	1,692	1,445
税引前四半期純利益	44,708	72,450
法人税、住民税及び事業税	17,495	22,578
法人税等合計	17,495	22,578
四半期純利益	27,213	49,871

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,980,209	213,834	2,194,043	—	2,194,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,980,209	213,834	2,194,043	—	2,194,043
セグメント利益	125,509	26,739	152,248	△108,044	44,204

(注) 1. セグメント損益の調整額△108,044千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,109,826	236,596	2,346,423	—	2,346,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,109,826	236,596	2,346,423	—	2,346,423
セグメント利益	153,744	30,327	184,072	△110,282	73,789

(注) 1. セグメント損益の調整額△110,282千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、1,432千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。